

八戸市史だより

第5号

発行日 平成16年6月14日

八戸市史編纂室

もくじ 部会短信 原始・古代・中世部会...2 近世部会...2 近・現代部会...2 自然・民俗・文化財部会...3
資料寄贈者...3 刊行物のご案内...3～4 平成15年度収集・整理資料一覧...4

写真が伝える

明治・大正・昭和の八戸

歴史と暮らしの情景



昭和初期 泉山醤油工場の醤油製造作業

(村井家からご寄贈いただいた写真資料より)

チリ地震津波による
八戸での被害家屋



八戸市史編纂室では、古文書のほかにいろいろな写真資料を収集しています。その中に村井家(吹上)から市史編纂室に寄贈された写真資料には、市民にとって興味深い様々な写真があります。

昭和初期の八戸の泉山醤油合名会社の様子を写した写真、明治期と思われる小学校の生徒たちの集合写真、津波による被害写真など、まさに八戸の歴史の一コマを映し出す資料といえます。当時、泉山醤油合名会社は現在の八戸市徒士町にありました。醤油会社を写した写真には、醤油工場や醤油について分析している様子、醤油の樽詰め作業などが残されています。写真に写る泉山醤油会社の活動からは、当時の活気あふれる

八戸における商業の状況が手に取るように分かります。

災害の様子を記録した写真としては、明治30年代から戦後までの津波被害の写真が記録されていました。漁船や木材が山のように折り重なる様子は、当時の被害状況の凄まじさを物語っています。

その他に、大正期と思われる三社大祭の行列写真があります。写真に写された町並みを見ると、大正13年(1924)に八戸を襲った八戸大火以前のものです。当時の山車はとても背が高い造りになっており、飾られた武者姿の人形が2つとシンプルなものでした。また、昭和期と思われる大久保地区のえんぶり組の人たちを写した集合写真も見つかっています。

2004年度、いよいよ第1回刊行!
八戸市史 自然編
平成17年3月予定

本年度からいよいよ八戸市史が刊行されます。
その第1回は、八戸の自然環境や動植物等について解き明かす「自然編」となります。
来年度以降も続々刊行する予定です。

部 会 短 信

原始・古代・中世部会

平成16年度の遺跡解説をのせた考古資料編の執筆に向け、15年度はその準備段階として、遺跡リストの作成、掲載資料の選択、目次案・執筆者の選定をすべく会議をすすめてきました。

調査では、11月、昨年度に引き続き二回目の新田城(八戸市新井田)の試掘調査と試掘地点の測量

を行いました。これは、地域の住宅化などにより埋め立てられた堀跡を明らかにし、城の全体像を把握しようとするものです。昨年度の調査で検出されなかった堀跡が、道



八戸関係の遺物資料調査 慶応大学にて

路をはさんで向かい合った二地点から発見されました。幅はおよそ5メートル、かなり深い堀であったと思われます。新井田川に面する削平段からも、中世の時代の帯郭がみつかりました。

また、2月には、慶応義塾大学所蔵の遺物調査を行い、蟹沢遺跡や日計遺跡など約70点の縄文土器や土偶を写真撮影しました。

近世部会

昨年度に近世資料編の構成を政治編、産業編、文化社会編の3巻組みとすることと、各巻の基本的な章構成を決めています。本年度は、第1巻(政治編)の原稿を執筆しました。新たに2名が調査研究員に加わり活動しています。まず、



整理調査の様子

各章ごとに執筆委員を割り振り、掲載史料を決定しました。史料の解説については、調査協力員や八戸古文書勉強会の会員の他、多くの方々に依頼し、解説された史料は、委員が2回以上校訂して標題と解説を加えました。また、各章に、章の内容を要約した概説とトピックス(掲載史料をもとに八戸の歴史を読み解く特集ページ)

を付けています。

各家所蔵文書の整理調査は、八月に市内の長者山・新羅神社所蔵資料及び福地村の大橋家文書などを整理調査しました。

市外調査については、岩手県立図書館と盛岡市中央公民館、東北大学附属図書館、市立函館図書館、北海道大学附属図書館、また、新潟県の新発田市立図書館、東京の国立国会図書館、国立公文書館、東京都立中央図書館において調査を実施し、近世の八戸関係の貴重な資料を撮影またはコピーしました。

近・現代部会

平成15年度は、近現代資料編1の刊行に向けて準備が進められました。資料編の目次構成案をまとめ、その案に基づいて、具体的な掲載資料の候補について、部会で検討しました。

市内の資料調査も引き続き進められ、主に下長土地改良区所蔵の資料を整理・調査を行いました。市外については、東京都、札幌市、盛岡市、青森市などで調査を行いました。東京都では交通博物館などで東北本線関係資料、



交通博物館での資料調査

札幌市では北海道開拓記念館で出稼ぎ関係資料を確認しました。

16年度は、部会を中心に近現代資料編1の執筆作業に取りかかります。それに伴い、掲載予定の資料について解説を進めていきます。

部 会 短 信

自然・民俗・文化財部会

自 然

15年度は、本年度の自然編刊行に向けて執筆作業を行いました。また、初めて自然観察会を開催し、当日約70人の親子などが参加して、八戸の風光明媚な海岸線を散策しながら、植物や昆虫、野鳥を観察しました。



自然観察会の様子

民 俗

15年度の市内各地区での聞き取り調査は、農業地域である是川と館で実施しました。是川地区には「お

しら様」を祭る家が数件あります。正月と春と秋の年3回、おしら様を遊ばせる行事が行われていて、正月

にはイタコに来てもらい、1年間の天気や農作物、家内繁盛などを占ってもらおうそうです。しかし、そうした風習も時代とともに簡略化されてきているそうです。

文化財

今後、近代和風建築(住宅・公共建築・商業建築など)の調査を予定しています。青森県史が行っている、同調査の結果の活用も図っていきたく考えています。

資 料 寄 贈 者

市史編纂室が発足してからこれまで、多くの方々から貴重な資料を寄贈していただきました。

平成15年度に資料を寄贈してくださったのは次の方々です。

大橋 八重子さん
葛西 京子さん
木附 沢賢司さん
滝沢 淳子さん
(以上 50音順)

どうもありがとうございます。資料は大切に保管し、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

お宝募集

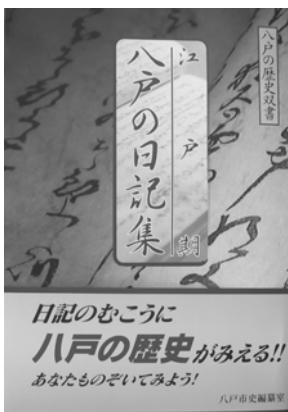
編纂室では、江戸時代の手紙や書き付けなどの古文書類、明治時代以降の文書や写真類といった、ごく一般的な資料を収集しています。お宅に眠っている資料がありましたら、どんなものでも結構です。ご連絡をお待ちしています。

刊 行 物 の ご 案 内

八戸の歴史双書

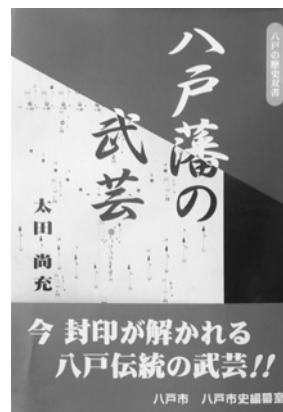
八戸の歴史双書は「八戸市史」の本編とは別の趣旨で刊行するシリーズです。

一つは断片的に取り上げたのでは、資料価値が生きてこないものを資料集としてまとめた「復刻シリーズ」です。もう一つは個別のテーマを分かりやすくまとめた「読み物シリーズ」です。平成15年度は、「復刻シリーズ」として『江戸期八戸の日記集』、「読み物シリーズ」として『八戸藩の武芸』を刊行しました。

八戸の歴史双書 復刻シリーズ
江戸期八戸の日記集

江戸時代の八戸を語る貴重な日記を掲載した資料集です。八戸藩ができる以前の様子がうかがわれる「盛岡藩日記(雑書)」、宝暦期の八戸藩士の日常が綴られた「川勝家日記」、飢饉と藩政改革に翻弄された天保期の商人の記録「淵澤家日記」、の3つを活字化しました。

A5判・651ページ
販売価格(税込) 2,900円

八戸の歴史双書 読み物シリーズ
八戸藩の武芸

元弘前大学教授の太田尚充さんが書き下ろした一冊で、八戸藩政期に盛んだった多くの武芸について、わかりやすくまとめています。藩の御家流を中心に、多彩な武芸を紹介しています。また「八戸武芸名人録」もあわせて収録し、八戸ゆかりの武芸者の逸話を掲載しました。

B6判・212ページ
販売価格(税込) 1,300円

既刊案内
販売中

復刻シリーズ

「明治・大正の八戸市街図と三戸郡誌」

販売価格(税込) 2,700円

平成15年12月発行

読み物シリーズ

「八戸の安藤昌益」 稲葉 克夫 著
「八戸の女性史」 島守 光雄 著

販売価格(税込) 800円

平成14年3月発行

販売価格(税込) 1,300円

平成15年12月発行

刊 行 物 の ご 案 内

はちのへ市史研究

このたび八戸市史編纂室では、定期刊行物として、『はちのへ市史研究』を発行しました。昨年創刊され、今回で第2号の刊行です。本誌では、八戸市史編集委員会の各専門部会の委員・顧問・協力員等が各種の調査や資料の吟味で得た成果などが、研究・レポート・資料紹介・部会の活動報告等のかたちで、いち早く発表されます。



「第2号」 B5判・83ページ
販売価格(税込) 1,700円

【研究】

「八戸の景観」堀田報誠さん(自然・民俗・文化財部会顧問)

八戸の地形と景観の特性を、日本の伝統的な地形空間のタイプから読み解く。

「市町村合併の歴史と地方の動き」渡部高明さん(近現代部会調査研究員)

明治から昭和にかけておこなわれた八戸地域の市町村合併の歴史を振り返る。

「八戸地方の伝統食」古町周子さん(自然・民俗・文化財部会調査研究員)

八戸の農業・漁業・町方の各地区の伝統食から人々の生きる知恵を探る。

【講演会記録】

「思想と歴史 - 安藤昌益を手がかりに」・小林博行さん(京都大学助手)

【資料紹介】

「はちのへクジラ発掘の経緯」田鎖周治さん

【市史随想】

「八戸藩寛文時代の天災と凶作」東由紀子さん

その他etc...

既刊案内

「創刊号」 販売価格(税込) 1,900円 平成15年3月発行

平 成 15 年 度 収 集 ・ 整 理 資 料 一 覧

文書・資料名	資料内容	数量	備考
1 葛西家(石堂)文書	奥南新報	2	寄贈
2 木附沢家(根城)文書		6	寄贈
3 逸見家(旧南部)文書	函面類	17	
4 井上家(南白山台)文書	商業資料ほか	25	
5 永久寺文書	寺社関係書状	27	寄託
6 藤原家文書	証書類	28	
7 大橋家(福地村)文書	帳簿類ほか	73	寄贈
8 交通博物館所蔵資料	東北本線建設関係資料	84	
9 久保家(湊)文書	漁業関係資料ほか	99	
10 宗家(類家)文書	書状類ほか	153	
11 七戸・盛田氏所蔵文書(川勝家文書)	八戸藩関係文書ほか	193	
12 長者山新羅神社所蔵文書	三社大祭関係資料	425	寄託
13 岩手県庁文書	鉄道資料	約10	
14 滝沢家(沼館)文書	写真など	約20	寄贈
15 下長土地改良区所蔵資料	土地関係資料	約200	
16 大澤家(長者)文書	巻物類	約26	
17 青森県立図書館所蔵資料(官省指令留ほか)	八戸県関係資料ほか	約30	
18 購入文書	南部藩関係資料	84	
19 購入文書	書状類・写真など	104	
20 購入文書	書状類・絵はがき類など	156	
21 購入文書	戦前期資料ほか	約50	
15年度収集整理資料点数		約1,812	点
10~14年度収集整理資料点数		約40,125	点
合 計		約41,937	点

八戸市史だより

第5号

発行・編集 八戸市史編纂室

〒031-0031 青森県八戸市大字糠塚下道2-1 八戸市立図書館内

電話・FAX 0178(73)3234

E-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp

Http://www.city.hachinohe.aomori.jp/shiryo/shishi/01_hyoushi.html